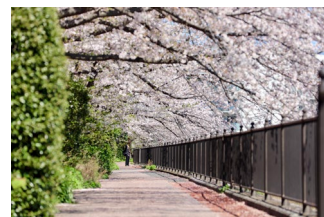


柏尾川桜並木応援アンバサダーに プロサッカー選手の遠藤航選手が就任！！

戸塚区の魅力の一つで、毎年、桜の開花時期には多くの花見客で賑わう柏尾川の桜並木ですが、高齢化や病害等により年々、その本数が減少しています。そこで、戸塚区では、減少を食い止め、この景観を維持するため、保全・再生の取組を進めています。

このたび、戸塚区出身でプロサッカー選手の遠藤航選手にこの取組についてご賛同いただきましたので、「柏尾川桜並木応援アンバサダー」を委嘱し、桜並木の保全・再生の取組の周知、戸塚区の認知度向上にご協力いただきます。



柏尾川桜並木

柏尾川桜並木応援アンバサダーについて

プロサッカー選手 ^{えんどう} 遠藤 ^{わたる} 航 選手

(1993年生、戸塚区出身、横浜市立南戸塚小学校・南戸塚中学校卒業)

任 期：令和6年7月1日～令和10年3月31日

委嘱内容：柏尾川桜並木保全・再生の取組の周知

戸塚区のイメージアップ、認知度向上等に取り組むものとする。



遠藤選手コメント

柏尾川の桜並木は練習帰りにチームメイトと一緒に帰った思い出の場所です。戸塚の柏尾川桜並木が未来につないでいけるよう、応援しています。

柏尾川桜並木保全・再生計画について

柏尾川の桜並木は安政3（1856）年に植樹されたことが始まりとされています。その後、明治後期の耕地整理や第二次世界大戦中には燃料等として伐採され、全滅してしまう時もありました。そのたびに地域の皆様と共に乗り越え現在に至っています。

しかし、そんな桜並木も高齢化や病害等により安全管理上、伐採を余儀なくされ、年々減少してまっています。

そこで、戸塚区では、令和6年度に「柏尾川桜並木保全・再生計画検討委員会」を立ち上げ、「柏尾川桜並木保全・再生計画」を策定し、この策定した計画を踏まえた保全・再生の取組を進めます。

また、ふるさと納税制度等を活用した新たな財源確保方法も検討しています。

戸塚区では、令和11年の戸塚区制90周年を見据えた柏尾川桜並木の保全・再生の取組や、**GREEN×EXPO 2027**(2027年国際園芸博覧会)の成功に向けた広報PRなど、環境と共生し、市民の皆様と共につくる「環共」の取組を進めていきます。

お問合せ先

戸塚区区政推進課長 山内 康司 Tel 045-866-8320